

(1) (仮称)奈良県国際芸術家村における運営体制について ①

- 2021年度中の(仮称)奈良県国際芸術家村のオープンに向け、2019年度に指定管理事業者の公募を行う予定。今年度は公募条件等を確定する必要があり、そのための前提となる指定管理事業者の業務範囲について整理(下図参照)。
- 運営体制については、前回委員会で「文化の分野は県が責任を持つ体制が良い」、「県直営の部分(下図黄色)はノウハウを蓄積するような形が必要」といったご意見を各委員からいただいたところ。
- これらのご意見等を踏まえ、＜棟別の業務分野による整理＞及び＜業務の性格による整理＞の両面の視点から、指定管理事業者に委ねる範囲を検討し、テーマアクティビティなど付加価値を高める業務は、県直営とする。

＜棟別の業務分野による整理＞

文化財修復・展示棟	複合棟	伝統工芸施設	農村交流施設	情報提供施設	屋外体験
<ul style="list-style-type: none"> 文化財修復 人材育成 企画運営 展示 体験 関連イベント 	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習、ソフト催し 人材育成 アート展示 AIR 	<ul style="list-style-type: none"> 製作体験 セミナー ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 関連イベント 実習体験 	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内(山の辺の道等施設周辺の案内等) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習 屋外イベント アート作品の展示
貸館	貸館	物販 貸館	直売所 レストラン 貸館	観光案内(県内全域) 施設案内	
施設維持管理(警備、清掃、保守管理、植栽管理等)					

凡例 指定管理事業者実施 県直営 ボランティア等実施(検討)

＜業務の性格による整理＞

分野	自主事業(主催) (県が積極関与)	他主体事業 (他主体主導事業)	
		共催・後援・連携	共催・後援・連携以外
文化財修復	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の修復・展示 技術者等による公開解説 	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の教育旅行 小中学校郷土教育 考古分野の天理市との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 民間観光ツアー
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 宮大工育成実習 若手工芸家マーケティングセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 芸術系大学の研修旅行 	<ul style="list-style-type: none"> 民間人材育成セミナー
展示	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の修復展示 彫刻のCG再現シアター 	<ul style="list-style-type: none"> AIR制作作品展示 	<ul style="list-style-type: none"> 民間団体等による個別展
体験学習、セミナー、ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> アーティストによる絵画教室 仏像等デジタル彩色体験 工芸品製作体験 	<ul style="list-style-type: none"> 山の辺の道周遊ウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> 民間個別セミナー
関連イベント	<ul style="list-style-type: none"> ムジークフェスト 大芸術祭、障害者大芸術祭 天平衣装ファッションショー 	<ul style="list-style-type: none"> 映画祭等各種イベント 	<ul style="list-style-type: none"> 民間団体等による各種イベント
直売所、レストラン等(物販)	<ul style="list-style-type: none"> 食材などテーマ別の食イベント 	<ul style="list-style-type: none"> 物産展、マルシェ 地元観光農園 	<ul style="list-style-type: none"> 朝市
観光案内	<ul style="list-style-type: none"> 館内ガイドツアー 県内文化施設、観光地等の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアガイド 県内市町村の観光情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 観光関係団体によるPR

※上記の記載事業は例示

※ 両視点からのアプローチが必要であり、特にテーマアクティビティなど付加価値を高める業務は、最初は直営、定着・定型化した段階で順次指定管理へ移行

(1)(仮称)奈良県国際芸術家村における運営体制について ②

- 公開型の公共施設については、通常平日のうち1日を休館日としている例が多く、観光案内や物販等を担う道の駅では休館日を設けていない事例が多い。国際芸術家村の開館時間等については、これらの事例を参考に検討を進める。
- また、開館時間など公募条件については、2019年度の指定管理事業者の公募を目指し、今年度末までに確定を目指す。

<現在の検討案>

棟名	休館日	開館時間	備考
文化財修復・展示棟 (文化財修復室(公開))	毎週月曜 年末年始	9:00~17:00	・貸館については、利用形態に応じて、使用時間の延長も検討
複合棟(会議室・ホール)			
伝統工芸施設(直売所)	休館日を 設けない	9:00~18:00	・貸館の使用料については、近隣の使用料も参考に決定
農村交流施設(直売所・レストラン)			
情報提供施設(観光案内)			
屋外体験	毎週月曜 年末年始		-

【参考】類似施設の状況

区分	参考事例	休館日	開館時間	使用料 (一日・平日利用時)
文化財修復室 (公開)	歴史に憩う橿原市博物館	毎週月曜 年末年始	9:00 ~ 17:00	-
展示室	奈良県立万葉文化館 1454㎡	毎週月曜 年末年始	10:00 ~ 17:30	-
直売所・レストラン	道の駅「レスティ唐古・鍵」 (うち、直売所、レストラン)	休館日 を設けていない	9:00 ~ 18:00	-
ホール	奈良県文化会館 300席	毎週月曜 年末年始	9:00 ~ 21:30	44,220円
会議室	奈良県文化会館 87㎡	毎週月曜 年末年始	9:00 ~ 21:30	10,590円
観光案内	平城宮跡歴史公園館 (うち、天平みつき館)	休館日 を設けていない	9:30 ~ 18:00	-

<今後のスケジュール>



維持管理費のうち、光熱水費、警備費(駐車場誘導員含む)、清掃費、保守管理費、植栽管理費、修繕費を試算 約2.1億円/年

施設名称、開館時間等を決定

(2)文化財修復・展示棟における考古分野等の展開について

- (仮称)奈良県国際芸術家村では、県文化財保存事務所(建造物)、天理市文化財課・県橿原考古学研究所(考古)、民間修復事業者(仏像彫刻など美術工芸)を集約し、修理現場の公開解説や修理機会を捉えた情報発信等により、観光振興などを推進。
- 考古分野については、天理市文化財課と県橿原考古学研究所の連携のもと、来訪者に奈良の歴史文化資源に触れ、学習体験できる機会を提供。
- 美術工芸分野については、民間修復事業者の誘致に向けた意見交換を実施。

【考古分野】

○天理市文化財課(平日)の展開内容

- ・市内遺跡から出土した遺物の整理作業(土器の接合、復元等)の公開を実施。
- ・人材養成の一環として考古学を専攻している大学生等を日々雇用職員として受け入れ。
- ・芸術家村を起点とした古墳見学会、発掘成果発表会等の実施。

○県橿原考古学研究所(土日)の展開内容

- ・来訪者に開放的に楽しみ学んでもらえる体験、体感メニュー等を展開予定。
- ・具体的な体験メニューなどについては、今後検討。

《今後の展開》

平日・土日のそれぞれの詳細展開(公開時間、公開内容等)は、双方の調整により充実を図れるよう協議。

【美術工芸分野】

○民間修復技術者等の誘致

- ・仏像彫刻や絵画等の民間修復事業者などと意見交換を実施中。
- ・公開解説内容や作業量の確保などについて引き続き検討。

【考古分野の公開解説イメージ】

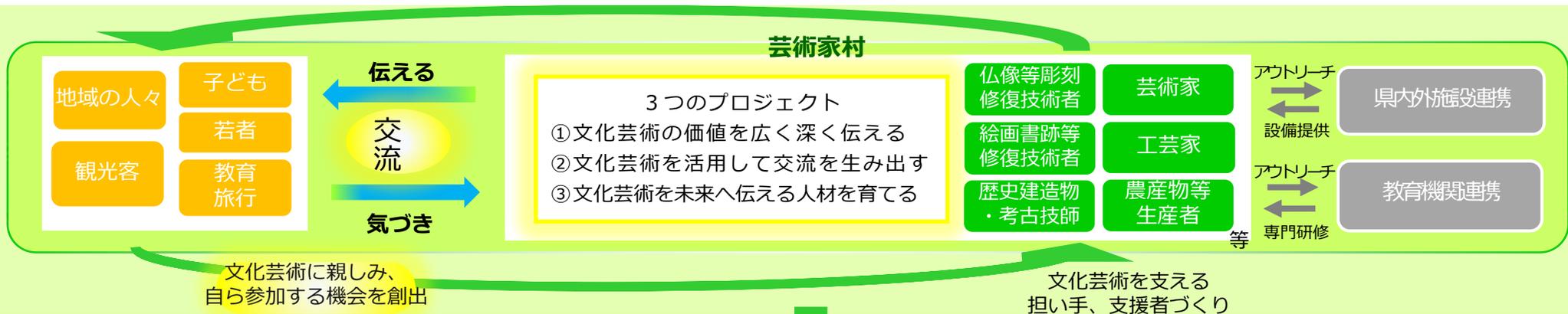


【美術工芸分野の公開解説イメージ】



(3) (仮称) 奈良県国際芸術家村におけるソフト展開について

- 文化財修復を中核に、奈良県の強みである歴史文化資源を最大限活用し、来訪者と文化芸術の担い手（文化財修復技術者、芸術家、工芸家等）が「交流」「学びあう」プラットフォームを形成
- 芸術家村整備基本構想等これまでの検討内容を踏まえ、3つのプロジェクトを推進
 - ①文化芸術の価値を広く深く伝える
 - ②文化芸術を活用して交流を生み出す
 - ③文化芸術を未来へ伝える人材を育てる
- 今後、多様なターゲットを想定したソフトプログラム展開やウェブサイト等による情報発信を検討



(仮称) 奈良県国際芸術家村のウェブサイト等により、英・仏・中・韓など多言語による情報を発信

プロジェクトを構成するプログラム (例)

- ①『伝える』
 - 修復技術の公開
技術者等による解説、ガイドツアー、文化財データベースの活用
 - 企画展示 (各分野横断テーマで広く興味関心を喚起)
文化財修復技術の映像・写真・修復後物件の展示、デジタル彩色体験、AIR制作作品の展示
- ②『交流』
 - 各分野の体験講座、ワークショップ
アーティストによる絵画教室、文化財修復技術者等による修復体験、音楽家によるアウトリーチやホールを活用した演奏活動、工芸家による工芸品制作体験
 - 周辺地域との連携
長岳寺阿弥陀三尊像の造像当初のCG再現シアター、玉眼構造のVR体験、モデルコース形成による現地への誘導
 - 教育機関との連携
全国芸術系大学コンソーシアムを通じた芸術系大学の研修旅行誘致、芸術系高等学校との連携、県内小中学校の郷土教育(校外学習)、県外教育旅行の誘致
- ③『育てる』
 - 宮大工等人材育成 宮大工育成のための実習
 - 伝統工芸若手育成 若手工芸家を対象としたマーケティング・ブランディング研修、新商品の開発・制作・展示販売(消費者とのコミュニケーション)

複合施設の強みを活かした展開イメージ (参考)

- 各分野×AIR (アーティスト、デザイナー等)
 - ・AIRで訪れるアーティストや芸術系大学生と、修復技術者、農家、工芸家等が集い交流するプログラムを検討
- 修復技術者と技の映像、写真制作及び展示
 - ・文化財修復技術者や技術に関する映像、写真をAIRで訪れるアーティストが制作し、展示公開
- 農 × 食 × 工芸のコラボレーション
 - ・農家、料理人、工芸家が芸術家村に集い交流するプログラムを検討
- ホール等を活用した文化交流
 - ・ミュージックフェストや大芸術祭・障害者大芸術祭等の文化芸術イベントの開催
 - ・ファミリーイベント等誘致により、訪れる幅広い層に対して、奈良の文化芸術に親しむ機会を創出
 - ・天平衣装ファッションショー、高校生ファッションショー等の開催